

高鍋

議会だより

9月議会
No.131

め組のパレード《一真持田保育園》
(10月7日・高鍋城灯籠まつり)

決算 進んだ代替エネルギー 2P

委員会質疑 カーブミラーなどの安全対策 7P

一般質問 「赤ちゃんの駅」の取り組み 8P

なでしこサポーター 点証で届ける最新情報 12P

平成24年度 補正予算

4億9,856万円
を追加し、
総額70億9,918万円
になりました。



介護を行う人が介護中であることを
周囲に理解してもらうための
「介護マーク」

**地域支え合い体制づくり事業費
489万円**

**宮崎から東日本へ感謝を届ける
市町村支援事業**

301万円

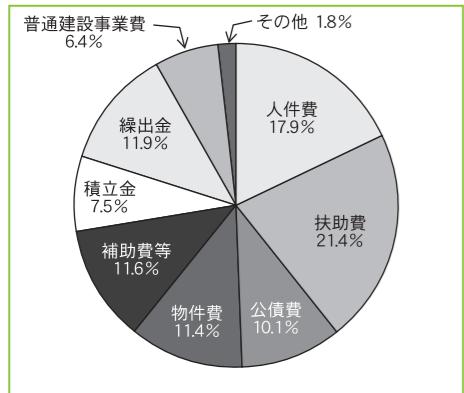
**青年就農給付金給付事業
西都児湯医療センター負担金
450万円**

**予防接種事業費委託料
543万円**

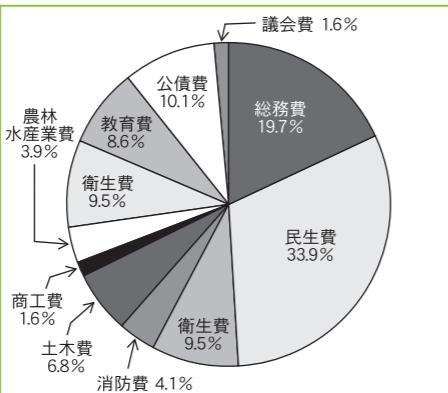


**口蹄疫プレミアム商品券
発行事業費
310万円**

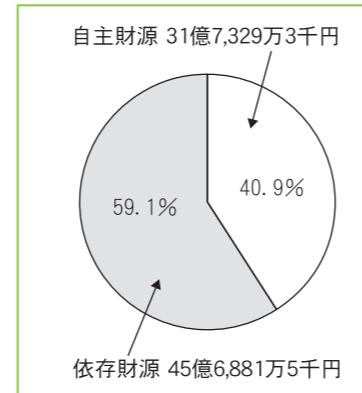
性質別決算の内訳



目的別決算の内訳



財源の比較



平成23年度 決算

進んだ代替エネルギー

屋上断熱工事 2,581万円
太陽光パネル設置工事 4,032万円
照明器具省エネ改修工事 1,031万円



役場屋上に広がる太陽光パネル

平成24年第3回定例会が9月6日から21日までの16日間の日程で行なわれました。
決算審査9件、補正予算6件、規約・条例3件、意見書1件、人事案件4件が上程されました。
一般質問は7議員が登壇し、災害時対策や環境整備、町づくり整備、子育て支援などについて質問しました。

(単位：千円)

区分	決算額		差引額
	収入額	支出額	
一般	7,742,108	7,306,593	435,515
国民健康保険	2,983,173	2,766,207	216,966
後期高齢者医療	415,037	414,424	613
下水道事業	379,199	378,705	494
介護認定審査会	11,427	9,958	1,469
介護保険	1,454,354	1,402,042	52,312
都市計画畠田土地区画整理事業清算金	4,767	4,767	0
一ツ瀬川雑用水管理事業	16,422	14,423	1,999
合計	13,006,487	12,297,119	709,368

産業建設



問：めいりんの湯は、国からの第三セクター等の抜本的改革の推進通達中、経営収支が赤字や債務超過に陥り、町からの補助金または貸付金等、財政支援に依存しているものにあてはまるのでは。

答：現在そのような状態であり、平成23年度に手立てを取るべきだった。

問：めいりんの湯の経営検討委員会の専門家を交えた検討委員会を立ち上げる考えはない。

総務環境

委員会質疑



問：安全対策のカーブミラーやガードレール設置の住民要望は。

答：要望にはできるだけ応えているが実現していない地域もある。

問：通学路の点検整備は。

答：竹鳩橋・いろは坂など6ヶ所が危ないと確認し、教育委員会と解決できるかなと合同会議を行っている。

問：墓地75ヶ所の台帳整備を行うが、村墓地の管理は。

答：唐木戸の直営墓地以外は町では管理ができない。

特別会計

みんなで楽しむ
はつらつ教室



●介護認定審査会

問：要介護認定者774名のうち、施設介護利用者の要介護5の方の人数は。

答：59名

●介護保険

問：はつらつ教室の事業所を増やしたことにより予防給付費が減少していることの証は。

答：予防段階で留めていることによって家庭負担を抑えているケースがある。

文教福祉

高鍋議会だより

人事



固定資産評価審査委員
(新任)

篠原房佳さん

教育委員
(新任)

小泉桂一氏

人権擁護委員
(再任)

川村靖子さん

公平委員
(新任)

矢野友子さん

規約・条例

◆県後期高齢者医療広域連合規約
◆町税条例
◆町災害対策本部条例

※いずれも語句、条項番号の変更

意見書

◆二次医療圏設定変更に関する意見書
医療圏を宮崎市を含む広域にすることに反対



地域医療に貢献する西都兜湯医療センター



後藤 隆夫 議員

人口減少をどのように捉えているか 各施設を総合的に推進

後藤 人口減少、超高齢化社会の到来により、財政的制約など社会構造そのものが変化しつつある。その要因は何か。

街賃 人口増加など
のように進め、流出
を防ぐのか。



この子等に明るい未来を

町長 人口変動は、出生者数から死亡者数を差引いた自然増減で、転入者から転出者を差引いた社会増減による。本町も昭和60年をピークとして徐々に年少人口が減少し、老年人口の増加が要因であると考える。

後藤 地方の人口減少は生産年齢層の流出が原因ではないか。

町長 県内に企業等が少なく雇用が進まない事が原因のひとつで、本町に企業進出の話もあるので協力し雇用の場を広げたい。

い世代が定住し安心して教育、子育ての出来る環境、雇用の創出など元気で活力のある町づくりを開拓したい。

平成24年第3回定期会議 可否表

○賛成 × 反対
議長は表決に加わりません)



柏木忠典 議員

地域防災計画の見直し 現在取り組んでいる

柏木 東日本大震災を教訓に、災害に対する町民の関心は高まっている。今回、南海トラフの被害想定が発表された。詳細な

町長 地震・津波対策について防災行政無線の整備や、拠点となる避難所の耐震化緊急性の高い対策について必要な予算の確保を行い、現在事業に取り組んでいる業の計画を伺う。

建設管理課長 今後、農高の嶋田圃場跡地の取得予定もあり多目的広場、子ども広場駐車場の整備も検討しながら四季を感じる公園を目指す。



孤立者救助搬送訓練

◇高鍋大師・花守山 事業について

柏木 持田古墳群15号
跡の舟形石棺は現在
どうなつているのか
副町長 県としては、
返さないと言つてい
るわけではない。本
町に帰つて来た場合
保存を永久的にして
いく設備、建屋・温度・
空調設備等、完全な
場所に戻したいとい
うことで今協議中で
ある。

柏木 高鍋大師はN.P.O法人高鍋観光協会の所有となつた。創建された岩岡弘覚翁の精神【ひたすら英靈と古墳の供養、町民の安全祈願】を守り伝え、750体に及ぶ石像の保護に努力されたい。

学校4校の耐震補強の進捗は 24年度完了の予定



八代輝幸 議昌

八代　今後の地域防災計画への取組みを伺う。

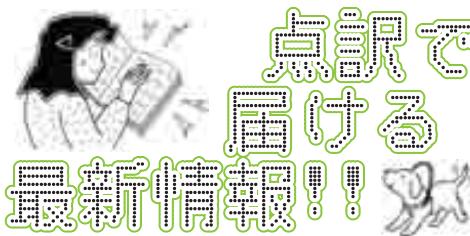
総務課長　国や県の防災計画の見直しを見据えながら、現段階では有効な防災行政無線の整備など、着手できる作業に取り組む。

八代 宮がんが1人発見されている。

教育長 学校における「がん教育」の推進について伺う。

保健体育科の保健分野の中で、生活習慣病や性感染症との関連で、がんについて学んでいる。

(高鍋町花) なでしこ サポーター



A会員 視覚障害者の方々の少しでも手助けになればと思い入会しました。



点訳作業

記者 サーカルを始められたきっかけは。
大西 初めは点訳が目的ではなく、一九九三年に故・渕之上さんを中心に目が不自由でも運動もしたいし、いろいろな体験をして情報も得たいという思いから発足しました。

B会員 エレベーターや缶の点字を見て、自分も点字が読めるようになりますか。
C会員 これからもずっと続けていくライフルになれば。



点字の研修

D会員 自分も少し目に障害があるため、障害を持つ人の気持ちが分かるので、何かの役にたちたいと思いました。

西 員会長を訪ねました。このサークルは、視覚障害の方々の生活に必要な身近な情報をお伝えしています。会員は、現在20代から70代後半まで、西都市と児湯五町の男女33名です。11月7日には、ボランティア功労者県知事表彰を受賞されました。

E会員 サーカルに入つたきっかけは。
F会員 視覚障害者の方々の少しでも手助けになればと思い入会しました。

▼五ヶ瀬町
町民センター

G会員 以前少しやつて
H会員 いろんな職業の人たちと知り合えて勉強になっていました。

I会員 国語力が必要なので少し大変な面はありました。が、今はとても自信につながっています。

J会員 どのよだんなものを点訳していますか。
大西 (お知らせたかなべ) (広報たかなべ) (小説雑誌 (議会だより) (居酒屋のメニュー)など)。

いたのでまた、それができるようになつたことが喜びです。
K会員 いろいろな職業の人たちと知り合えて勉強になっていました。



▼総合学習の一環
高鍋東中学校
町村議員大会



よ
り
い
い
議
員
へ

津八永松岩徳
曲代友岡崎久信
牧輝良信信
子幸和博や義俊

議長山本隆俊
議会広報編集特別委員会
記

若い世代に、活力と前進する勇気を与える快挙であると思うのは私だけだろうか。

地に倒れ2年、「感謝・復興・前進・宮崎牛」を掲げて臨んだ全国和牛共進会、不屈の闘志で連続日本一を勝ち取った。

打ちのめされた畜産農家への想いはいかばかりであつたのか。

被災後、新燃岳大噴火の降灰、鳥インフルエンザなどの直撃を相次いで受けた。

宮崎県は、あの口蹄疫被害以後、新燃岳大噴火文字が躍る10月30日宮崎日日新聞の見出し。

◆編集後記◆